

# 試験焼却前後における各種測定結果の推移

富山地区広域圏事務組合

## 1. 排ガス中の放射性セシウム測定結果

単位:ベクレル/ノルマル立方メートル

試料採取日	試験焼却前 平成24年11月28日	試験焼却中		試験焼却後 平成24年12月20日
		(1日目) 平成24年12月16日	(2日目) 平成24年12月17日	
試料名	放射性セシウム濃度 Cs-134, 137合計			
排ガス(ろ紙部) 1号炉	ND(<0.4)	ND(<0.4)	ND(<0.4)	ND(<0.4)
排ガス(捕集水部) 1号炉	ND(<0.4)	ND(<0.4)	ND(<0.4)	ND(<0.4)
排ガス(ろ紙部) 2号炉	—	ND(<0.4)	ND(<0.4)	ND(<0.4)
排ガス(捕集水部) 2号炉	—	ND(<0.4)	ND(<0.4)	ND(<0.4)
排ガス(ろ紙部) 3号炉	ND(<0.4)	—	—	—
排ガス(捕集水部) 3号炉	ND(<0.4)	—	—	—

\* 検出器の検出下限値はセシウム134、セシウム137それぞれ0.2Bq/Nm<sup>3</sup>。

\* 「ND」(Not Detected)の表記は不検出(検出下限値未満)の意味。

表中では「ND(<検出下限値)」と表している。

測定方法:平成23年12月 環境省作成の廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)による。

排ガス中の放射性物質をフィルターによるろ過捕集、吸収瓶による液体捕集で試料ガスを捕集します。

使用測定器:ゲルマニウム半導体検出器(キャンベラ社製 型式GC2520)

測定機関:日本海環境サービス(株)

\* 空気中の放射性物質の濃度限度

$$^{134}\text{Csの濃度}(\text{Bq}/\text{m}^3) \div 20(\text{Bq}/\text{m}^3) + ^{137}\text{Csの濃度}(\text{Bq}/\text{m}^3) \div 30(\text{Bq}/\text{m}^3) \leq 1$$

なお、上記の濃度限度は、同一人が0歳児から70歳になるまでの間、当該濃度の放射性物質を含む空気を摂取したとしても、被ばく線量が一般公衆の許容値(年間1mSv)以下となる濃度として設定されたものです。

(放射線審議会基本部会「外部被ばく及び内部被ばくの評価法にかかる技術的指針」(平成11年4月))。

## 2. 土壌中の放射性セシウム測定結果

### 立山町

単位:ベクレル/kg

試料採取日	試験焼却前	試験焼却後
	平成24年12月3日	平成24年12月22日
試料名	放射性セシウム濃度 Cs-134, 137合計	
①末三賀西部公民館周辺(畑)	ND(<10)	ND(<10)
*②泊新公民館周辺(神社)	ND(<10)	12
*③岩嶽野公民館周辺(神社)	25	24
④下段公民館グラウンド	ND(<10)	ND(<10)
⑤釜ヶ淵小学校グラウンド	ND(<10)	ND(<10)
⑥大森グラウンド	ND(<10)	ND(<10)
⑦立山小学校グラウンド	ND(<10)	ND(<10)
⑧利田小学校グラウンド	ND(<10)	ND(<10)
*⑨新瀬戸小学校グラウンド	10	ND(<10)

試料採取日	試験焼却前	試験焼却後
	平成24年12月13日	平成24年12月22日
*⑩岩嶽野公民館周辺(畑)	ND(<10)	11
⑪日中上野小学校グラウンド	ND(<10)	ND(<10)

### 富山市

試料採取日	試験焼却前	試験焼却後
	平成24年12月4日	平成24年12月21日
試料名	放射性セシウム濃度 Cs-134, 137合計	
⑫大山文化会館	ND(<10)	ND(<10)
⑬大庄地区コミュニティーセンター	ND(<10)	ND(<10)
⑭流杉浄水場(場内)	ND(<10)	ND(<10)

\* 検出器の検出下限値はセシウム134、セシウム137それぞれ5Bq/kg。

\* 「ND」(Not Detected)の表記は不検出(検出下限値未満)の意味。

表中では「ND(<検出下限値)」と表している。

測定方法:平成23年12月 環境省作成の廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)による。

使用測定器:ゲルマニウム半導体検出器(キャンベラ社製 型式GC2520)

測定機関:日本海環境サービス(株)

\* ②③⑨⑩の放射性セシウム濃度については、セシウム濃度は検出下限値未満もありましたが、検出下限値も加算し最大推計値で算定しました。

### 3. 焼却灰等の放射性セシウム測定結果

単位:ベクレル/kg

試料採取日	試験焼却前	試験焼却中		試験焼却後
		(1日目)	(2日目)	
	平成24年11月28日	平成24年12月16日	平成24年12月17日	平成24年12月20日
試料名	放射性セシウム濃度			
	Cs-134, 137合計			
焼却灰(主灰) 1号炉	ND(<10)	ND(<10)	ND(<10)	ND(<10)
焼却灰(主灰) 2号炉	—	ND(<10)	ND(<10)	ND(<10)
焼却灰(主灰) 3号炉	ND(<10)	—	—	—
飛 灰 1号炉	24	26	23	23
飛 灰 2号炉	—	16	25	24
飛 灰 3号炉	20	—	—	—
処理灰	23	14	22	14

\* 検出器の検出下限値はセシウム134、セシウム137それぞれ5Bq/kg。

\* 「ND」(Not Detected)の表記は不検出(検出下限値未満)の意味。

表中では「ND(<検出下限値)」と表している。

測定方法:平成23年12月 環境省作成の廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)による。

使用測定器:ゲルマニウム半導体検出器(キャンベラ社製 型式GC2520)

測定機関:日本海環境サービス(株)

主灰:ごみを燃やした際に発生する灰のうち、焼却炉から排出される灰(燃えがら)です。

飛灰:ごみを燃やした際に発生する灰のうち、排ガス出口のバグフィルターによって集められたばいじんです。

処理灰:飛灰を埋立処分するために、薬品処理した灰です。

\* 放射性セシウム濃度については、セシウム濃度は検出下限値未満もありましたが、検出下限値も加算し最大推計値で算定しました。

#### 4. 周辺地域の空間放射線量率測定結果

##### 立山町

単位: マイクロシーベルト/時

試料採取日	試験焼却前	試験焼却後
	12月3日 天候 晴	12月22日 天候 雨
①末三賀西部公民館周辺(畑)	0.06	0.07
②泊新公民館周辺(神社)	0.07	0.08
③岩嶽野公民館周辺(神社)	0.08	0.09
④下段公民館グラウンド	0.08	0.10
⑤釜ヶ淵小学校グラウンド	0.10	0.12
⑥大森グラウンド	0.09	0.10
⑦立山小学校グラウンド	0.07	0.09
⑧利田小学校グラウンド	0.07	0.10
⑨新瀬戸小学校グラウンド	0.09	0.11

試料採取日	試験焼却前	試験焼却後
	12月13日 天候 晴	12月22日 天候 雨
⑩岩嶽野公民館周辺(畑)	0.03	0.07
⑪日中上野小学校グラウンド	0.07	0.11

##### 富山市

試料採取日	試験焼却前	試験焼却後
	12月4日 天候 雨	12月21日 天候 曇
⑫大山文化会館	0.10	0.07
⑬大庄地区コミュニティーセンター	0.09	0.07
⑭流杉浄水場(場内)	0.08	0.06

測定方法: 平成23年12月 環境省作成の廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)による。

使用測定器: NaI(Tl)シンチレーション式サーベイメータ検出器(日立アロカメディカル株製 型式TCS-171)

測定機関: 日本海環境サービス(株)

測定方法: 地上高さ1mで、指示値の安定を確保した後、指示値を5回読み取り、その平均を測定値としています。

\* 12月4日と12月22日の空間線量率がやや高めに出た理由は、雨天による影響と推測されます。

## 5. 敷地境界線等の空間放射線量率測定結果

単位: マイクロシーベルト/時

測定日	バックグラウンド①	敷地境界線②	敷地境界線③	敷地境界線④	敷地境界線⑤
平成24年11月28日	0.08	0.05	0.07	0.07	0.06
平成24年12月16日	0.09	0.04	0.07	0.07	0.07
平成24年12月17日	0.08	0.05	0.08	0.08	0.07
平成24年12月20日	0.08	0.04	0.07	0.07	0.07

測定方法: 平成23年12月 環境省作成の廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)による。

使用測定器: NaI(Tl)シンチレーション式サーベイメータ検出器(日立アロカメディカル株製 型式TCS-172B)

測定機関: 富山地区広域圏事務組合

測定方法: 地上高さ1mで、指示値の安定を確保した後、指示値を5回読み取り、その平均を測定値としています。